

平成 24 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 メビオファーム株式会社  
代表者名 代表取締役社長 藤澤 忠司  
(コード番号：4580 TOKYO AIM)  
問合せ先 取締役経営戦略室長 森崎 直幸  
(TEL 03-5777-2626)

平成 24 年 3 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 7 月 15 日に公表した業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期の業績予想の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	事業収益	営業利益 (△は損失)	経常利益 (△は損失)	当期純利益 (△は損失)	1 株当たり 純利益(円)
前回発表予想 (A)	1,954	1,347	1,347	1,345	434.59
今回修正予想 (B)	170	△188	△213	△215	△69.47
増減額 (B-A)	△1,781	△1,535	△1,560	△1,560	—
増減率 (%)	△91.3	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	9	△318	△259	△262	△96.17

(注) 国内企業への製造に関する技術導出契約の締結に伴い 100 百万円を受領しておりますが、前受金に計上しており、今回修正予想の事業収益には含めておりません。

2. 修正の理由

当社は当事業年度において、抗がん剤 MBP-426 の開発権・販売権に係るライセンス契約締結に伴う契約一時金による収益計上を計画し、国内外の製薬企業との契約交渉を進めてまいりましたが、胃がんを対象とした第Ⅱ相臨床試験での前半パート (フェーズⅡ a) において患者さんの延命により評価判定が継続しているため、報告書のまとめが遅れていること、また、欧州での新たな第Ⅱ相臨床試験の開始を控え、ライセンス契約の経済条件への影響を考慮した調整に時間を要したことから、当事業年度中の契約締結には至らない状況となりました。当社といたしましては、ライセンスアウト候補先との交渉を引き続き継続するとともに、欧州での第Ⅱ相臨床試験開始の効果を織込みながら、契約締結の早期実現に努めてまいります。

また当社は、アジア圏企業への技術導出に伴う契約一時金による収益計上を計画し、複数の企業と契約交渉を行い、そのうち 1 社とは基本合意に到りましたが、この技術導出契約が、上記 MBP-426 のライセンス契約における権利を毀損する影響を考慮し、契約交渉を慎重に進めたことから、当事業年度中の契約締結には至らない状況となりました。当社といたしましては、引き続き契約交渉を継続してまいります。契約締結の時期につきましては、MBP-426 のライセンス契約の状況を考慮の上、決定したいと考えております。

これらの契約締結に伴う契約一時金収入の減少に伴い、事業収益を 170 百万円に修正いたします。

これに加え、最近の事業費用の推移を踏まえ、営業損失 188 百万円、経常損失 213 百万円、当期純損失 215 百万円に修正いたします。

尚、上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。また、平成 24 年 3 月 26 日付で監査契約を締結した日之出監査法人の確認を受けておりません。このため今後修正される可能性があります。修正が生じる場合は速やかに開示いたします。

以 上